

4. 社会貢献活動

トーメンは、社会的使命としてのビジネスを通じた価値の創造だけでなく、企業市民として、またグローバル市民として、世界各地で社会貢献活動を行っています。

大規模災害への支援

災害地域への救援物資の無償提供、義捐金の送金など、当社の機能・ネットワークを生かした支援活動を実施しております。2004年4月～2005年12月では、新潟県・新潟中部地震（2004年11月）、インドネシア・スマトラ沖地震（2004年12月）、イラン・ケルマン州地震（2005年2月）、米国ハリケーン「カトリーナ」（2005年9月）、パキスタン北部大地震（2005年10月）において、物資の提供や義捐金の送金をおこないました。

シニアボランティアへのOBの参画

商社での海外経験を開発途上国の生活環境向上や中小企業の支援による産業振興に役立てるシニアボランティアに当社のOBが数多く参画しています。たとえば、財団法人日本貿易会が設立したNPO法人「国際社会貢献センター（ABIC）」（民間レベルの支援・交流活動を通じて国内外の社会貢献に寄与することを目的とする）には約70名の当社OBが登録。JICA、JETROなどの海外事務所勤務（パキスタン、カンボジア、タイ、アルジェ（パリ）、などに5～6名）や、内外の中小企業支援アドバイザー、投資アドバイザーとして活躍しています。（写真：パキスタンにて電力会社を訪問するシニアボランティア）



【当社OBの活躍例】

- ・ パキスタン政府投資庁（BOI）投資促進アドバイザー T氏
パキスタンの首都イスラマバードにあるBOIに赴任。パキスタンに3回、10年駐在した経験を生かし、投資促進、輸出産業の近代化に向け、日本からの人材派遣を含むあらゆる面で協力している。（JICA長期専門家として2001年2月より赴任中）
- ・ JICAシニア海外ボランティア、パキスタン中小企業支援派遣のコーディネーター S氏
パキスタン経済を担う中小企業のレベルアップのため、グループ派遣による海外ボランティアのコーディネーターを勤めた。（2003年、2004年）
- ・ カンボジア商業省輸出振興局 商業アドバイザー S氏
WTO加盟国の最貧国として産業基盤の構築を進めるカンボジアに商業アドバイザーとして赴任。輸出振興政策の立案や、商業省の若手幹部候補生のキャパシティビルディング研修・JICAと連携した研修などを実施。（JICA長期専門家として2001年5月から2003年12月に赴任）
- ・ 小学校の国際理解授業の非常勤講師 Y氏（ABIC メコンデスクコーディネーター）
千葉県狛江市旭小学校で米（こめ）に関連し、タイについて講義。元駐在員の経験談が小学生の国際理解に役立っている。

その他の社会貢献活動

そのほか、イラン大使館が実施するイランフィルムフェスティバル（映画祭）やインドネシアの教育財団法人が実施するスポーツ教育への支援など、商社の国際活動を生かした地域社会への貢献を行っています。産業振興や教育向上は、貧困の撲滅によるテロの撲滅に結びつき、世界平和にも貢献するものであると考えています。